

# 芦別の良好な環境を守る取り組み

本市の良好で快適な環境を守り育てるための基本的なものとして、「芦別市環境基本条例」が平成20年10月から、「芦別市環境基本計画」が平成21年4月からそれぞれスタートし、今日まで環境に対するさまざまな取り組みを推進しています。今月は、条例の規定に基づき、芦別の良好な環境を守る取り組みについてお知らせします。

## ●平成30年度の主な取り組み

ごみゼロ社会を構築し、循環型社会を構築し、目指すまち	<b>◆ごみの減量とリサイクル</b>	
	家庭の生ごみの減量化の推進	毎年度実施している、生ごみのたい肥化容器（コンポスター）の購入に対する助成の実績は、助成回数22回（前年度13回）、助成金額は5万8,800円（前年度3万1,800円）となり、電動生ごみ処理機の購入に対する助成実績は、助成回数2回（前年度0回）、助成金額は4万円（前年度0円）となりました。
	小型家電製品の回収	一般ごみの排出量を抑制するため、平成26年度から使用済み小型家電の拠点回収を開始しており、市内4か所（市役所、なまこ山総合体育館、新城多目的研修センター、野花南生活改善センター）の、平成30年度の回収量は8,030kg（前年度9,430kg）となりました。
	古着のリサイクル	古着については、平成23年10月から市内公共施設（市役所、総合福祉センター、青年センター、各地区コミュニティセンター）において拠点回収しており、平成30年度の回収量は3,160kg（前年度3,233kg）となりました。
	庁舎内のごみの減量化、資源ごみの分別収集推進	庁舎内におけるごみの処分量は10,910kgで、昨年度より2,467kg減少となりました。また、資源ごみの回収量は6,320kgで、昨年度より5,180kg減少しました。
	<b>◆エネルギーの有効利用</b>	
省エネルギー型社会の実現	平成27年7月に策定した「第2期芦別市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、全職員を対象に省エネ・省資源等の取り組みについて点検・評価を行いました。また、公用自転車を積極的に利用したことにより、ガソリンが約13ℓ、二酸化炭素排出量についても30.53kg削減となりました。	
新エネルギー（木質バイオマス）の利用促進	芦別温泉スターライトホテルや星遊館など健民センター施設群への熱供給のために導入した木質チップボイラー2基が平成26年3月から稼働しています。このボイラーの燃料である木質チップは、芦別木質バイオマス開発協同組合が製造しています。	

豊かな自然環境を未来へ引き継ぐまち 人と自然が共生し、	<b>◆森林の保全と活用</b>	
	森林環境保全整備事業	豊かな森林が持つ多面的機能（水源のかん養、自然環境の保全、地球温暖化の防止等）を効果的かつ持続的に発揮していくため、森林環境保全整備（人工造林6.25ha、下刈131.09ha、皆伐4.36ha）を実施しました。※参考～前年度（人工造林3.00ha、下刈121.13ha、間伐等23.91ha、皆伐23.43ha、樹下植栽16ha）
	森林療法講座の開催	旭町にある生活環境保全林を活用して、森林にはリラックス効果があり、ストレスを軽減し生活習慣病を予防する効果があると言われていたことから、森林療法講座を開催しました。（開催月：平成30年5月～7月 参加者延べ50人）
	<b>◆野生生物の保護管理</b>	
	有害鳥獣の駆除	農作物被害及び森林被害等を防止し生態系のバランスを保つため、個体調整を実施しました。（エゾシカ629頭、キツネ52頭、ヒグマ8頭、アライグマ572頭） ※参考～前年度（エゾシカ600頭、キツネ34頭、ヒグマ6頭、アライグマ581頭）
	<b>◆都市緑化の推進</b>	
	花いっぱい運動の推進	町内会等の協力により、市街地の主要道路の植樹ますや公園等の景観整備のため、花壇に花の植栽を実施しました。（花苗本数：4万5,000本、4種類10色、花苗地帯：市・道・国道24路線、37施設、15公園） ※参考～前年度花苗本数：4万5,000本、4種類10色
	花と木・緑化推進基金事業の推進	市街地の観光スポット及び施設を、花と木が満ちあふれるみどり豊かな環境にするため「花と木・緑化推進基金」を活用し、花いっぱい運動と連携し実施しました。（花植栽本数：単年草4,960本、4種類5色、植栽地帯：道の駅花壇、道の駅周辺、11公園、なまこ山総合運動公園） ※参考～前年度花植栽本数：単年草3,860本、4種類5色
	<b>◆地球温暖化防止対策</b>	
	地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の推進	市が行う事務・事業で発生する二酸化炭素排出量を削減するため、第2期の実行計画（計画年度平成27～31年度）を策定し、平成26年度二酸化炭素排出量9,408,841kgを基準として、今後5年間で排出量を5%削減することを目標としています。平成30年度の二酸化炭素排出量は、8,386,607kgで基準年度比10.9%減となりました。

市民、コミュニティ及び事業者が環境の取組みに参加し、みんなの環境意識が高いまち	◆環境美化の促進	
	空き缶などのポイ捨て禁止看板及び犬のふんの放置禁止看板の設置	タバコや空き缶などのポイ捨てや犬のふんの放置を抑止するため、市内数か所に禁止啓発看板を設置しました。また、犬猫のふん放置が後を絶たないことから、犬猫のふんの後始末は、飼い主の義務であることを周知するため、環境衛生だよりを発行し、町内会を通じ回覧するなどして、市民モラルの向上に努めています。
	全市一斉親子クリーン作戦の実施	子どもの健全育成を図り、市内の道路や公園など身近な場所の清掃活動を通して、「ごみのない美しいまち」を目指すことを目的に実施しました。(参加人数1,516人、回収ごみ袋889袋、ごみ回収量4,430kg) ※参考～前年度参加人数1,636人、回収ごみ袋875袋、ごみ回収量4,354kg
	環境美化里親制度の推進	清潔で美しいまちづくりを進めるため、環境美化意識やモラルの向上に努めながら、清掃や除草など地域ぐるみの美化活動を推進しました。(登録団体数5団体、登録人数42人) ※参考～前年度登録団体数7団体、登録人数55人
	◆環境教育と環境学習の推進	
児童・生徒に対する環境教育の推進	環境に対する意識の向上や、ごみの分別・減量・資源化の取り組みなど、環境保全に参加する態度及び環境問題解決のための能力の育成を図るため、小中学校の教育活動を通じて環境教育に取り組みました。 ・校内におけるごみの分別・減量・資源化の取り組み。(ごみの分別、牛乳パックの回収、ペットボトル・エコキャップ・リングブルなど) ・総合的な学習の時間での植樹体験、川の水質調査、環境に関する新聞づくり、環境に関する取材活動や水をテーマとした学習	
◆市民等の自発的な活動の推進・市民等の参加機会の確保		
環境に関する情報の積極的な提供	広報紙やホームページなどの活用により環境に関する情報を提供しています。 ・環境衛生だよりの発行、最終処分場維持管理状況報告をホームページに掲載。	

●問い合わせ/まちづくり推進係

★市長だより★ 30

東日本を中心に記録的な大雨を引き起こした台風19号の影響で、洪水、河川の

決壊等各地に甚大な被害をもたらしたし、今なお懸命な復旧活動が続いており、被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々のご冥福と1日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

近年は地球温暖化の影響等で自然災害の発生頻度が高まり、しかも広範囲で大化しており、自然災害の少ない本市ではありますが、改めて災害への備えを万全にしておかなければならないところです。市民の皆様には「自らの命は自ら守る」という意識を高めていただくことはもちろんのこと、仮に災害により避難が必要とされる場合を想定し、普段から避難経路や避難場所をご家族の皆さん、地域の皆さんと話し合いをされ、またご不明な点は市役所にお問合せいただく等、即座に避難行動がとれるようにしておくことが大切です。

学生派遣事業、「老人福祉芸能発表会」等数多くの行事が実施されました。

主権やご協力をいただいた関係者の皆様に深く感謝いたしますとともに、これらの行事を通じて、一層子どもたちの健全な育成と地域の安全、市民の健康や交流、生きがいづくりにつながり、市民の皆さんが元気で、笑顔と活気あふれるまちづくりがさらに進んでいくよう願うところです。

11月には、9月市議会定例会において議員の皆さん全員一致によりご決定いただいたのを受け、本市発展に多大なご貢献をいただいた前参議院議長・伊達忠一様並びに北日本精機株式会社社長・小林英一様お二方への本市名誉市民称号の贈呈と、市表彰条例に基づき多年にわたり市政の進展にご尽力いただいた功労者4名の方々、市に多額の寄付を賜りました善行者3名の方々への表彰を、市民の皆さんを代表し、衷心より敬意と感謝の意を表し贈呈させていただきましたこととしております。

また、例年この時期には各種懸案事項の要望のため道内、道外への出張が多くなりますが、課題の前進に向け要望先等へしつかり訴えてまいります。

徐々に秋から冬へと季節が変わりゆく中、市民の皆様には体調管理等ご自愛いただき充実した日々をお過ごしください。



芦別市長 萩原 貢